

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
3ー⑥	交通の利便性を高める		まちづくり政策部、土木部				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
路線バスの乗り継ぎ 環境の整備進捗率	%	41	41	47			65
幹線道路のボトルネ ック交差点の改良進 捗率	%	12	13	15			40
関連事業							
○バス利用促進事業○幹線道路整備事業○街路整備事業							
決算額							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費（千円）	119,814						
執行率（％）	75.71						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●関係機関と協議を進めてバス停上屋の整備計画（案）を作成しました。また、豊田本郷地内の東橋バス停付近に自転車等駐輪場を開設し、バスを利用しやすい環境づくりを進めました。 ●吉沢土屋線、浅間町南原線、城所線の整備工事、真土金目線の用地買収、物件移転補償を行いました。また、北金目真田線の用地交渉を継続し、交通の円滑化と歩行者の安全確保を図りました。							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●バスを利用しやすい環境づくりを進めるとともに、南北都市軸における新しい公共交通の導入に向けて検討する必要があります。 ●幹線道路の整備は、用地買収、物件補償、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要があります。	●バス停の待合い環境の向上やサイクル&バスライドの整備、南北都市軸における新しい公共交通の導入検討をバス事業者と連携して進めます。 ●平成 29 年度中に策定を予定する（仮称）平塚市道路中期ビジョンに基づき、時代のニーズに沿った効率的かつ効果的な幹線道路等の整備を推進します。